

令和 5 年度 学校評価 自己評価書（2 学期）

1 学校の重点目標

1 学力向上	2 人間力の向上	3 体力・気力の向上
4 地域・郷土に開かれた学校	5 GIGA スクール構想の実現	

2 課題と改善策（※評価 1～4）

(1) 教育目標について

具体目標（校訓）	評価の観点	職員
ア 考える人（英知）	めざす生徒像	3.0
イ 心豊かな人（情操）	めざす学校像	3.0
ウ たくましい人（健康）	めざす教師像	3.0

(2) 実践 5 項目について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
ア 基本的な生活態度の定着	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き個別最適な学びと協働的な学びの実現を図るために ICT 機器を有効に活用した授業を推進する。 生徒会が中心となってあいさつの励行と無言清掃について具体的に取り組む。
イ 学力の向上	2.9	
ウ 勤労、協調の精神の高揚	2.9	
エ 礼儀と正しい言葉づかい	3.1	
オ 環境の整備、美化	2.8	

(3) 学年・学級経営について

	評価の観点	職員	評価結果と改善方策
学年経営	ア 学級目標の具体化・実践化	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 学校便り、学校 HP 及びメール等を活用し、教育活動について幅広く周知することで今後も保護者の理解と協力を得ていきたい。
	イ 学年の連携・一貫性		
	ウ 他学年との連携		
	エ 保護者との相互理解、連携		
学級経営	ア 学級目標の適正化	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導及び不登校対策について、担任と副担任が連携して情報の共有を図るとともに、年度末の学級編成等に生かしていきたい。
	イ 学級目標の具体化・実践化		
	ウ 学習意欲向上の配慮		
	エ 学級内相互の信頼関係		

(4) 努力点について

評価の観点	職員	評価結果と改善方策
ア 人権同和教育の推進	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育を学校経営の基盤としていることから、全教育活動を通じて人権教育の大切さを再度、周知したい。 全ての授業で ICT 機器を活用した授業を実践するとともに、不登校生等へのリモート授業の実践を推進する。 生徒指導及び不登校に係る委員会で個に応じた具体的な方策を確認する。 特別支援教育に係る関係委員会の見直し及び職員間の密な連携を推進する。 定時退庁の推進と see-smile の効果的な活用で業務改善を促進する。
イ 生徒指導の充実・人間力の向上	3.0	
ウ 学習指導の充実	3.0	
エ 特別支援教育の充実	2.6	
オ 道徳教育の充実	3.2	
イ 進路指導の充実	3.0	
キ 特別活動の充実	3.0	
ク 保健・安全指導の充実	3.2	
ケ 学級経営の充実	3.0	
コ 教育環境の整備	2.9	
サ 教職員の資質向上等	3.0	
ア 家庭・地域との連携	3.0	

3 次学期に向けての取組

(1) 教科指導について

- ア 学力定着度調査の分析、検証の推進と授業を通じた研修を充実させ本校独自の授業スタイルを構築させることで、学力向上について全職員が課題意識をもって取り組む手立てを講じる。
- イ すべての授業者が ICT 機器を有効活用し、生徒が学びの中心となる授業実践を推進する。

(2) 生徒指導について

生徒指導及び不登校対策両委員会を中心に、生徒に対する具体的な手立てを検討・実践をするとともに、関係機関との更なる連携を通して、個に応じた取組みを推進する。